

資料3 意欲を育てる手だて

	記号	項 目	記号・番号	内 容	指 導 の 視 点
学 習 の 仕 方	A	学 習 形 態	A-1	一 斉	・一斉指導の効果も十分留意しながらグループ化(A-2)、個別化(A-3)をはかる。
			A-2	グ ル ー プ	
			A-3	個 別	
	B	問 題 解 決 の 方 法	B-1	講義、説明	・生徒が課題意識を持ち積極的に学習に参加できるように実験・実習(B-2)生徒同士の意見の交換・討議(B-3・4)等に重点を置く。
B-2	実験、実習				
B-3	討 議				
B-4	問 答				
学 習 意 志 の 形 成	C	学 習 へ の 動 機 づ け	C-1	目 標 提 示	・導入部での課題(目標)提示(C-1)、課題発見(C-2)ができるような効果的指導法について研究をすすめる。
			C-2	課 題 発 見	
			C-3	子 習 的 課 題	
	D	興 味 ・ 関 心 を 高 め る 資 料 、 教 材 、 教 具	D-1	実物、作品	・ねらいに迫るための資料(D-2)生徒の意欲を引き出す教材など(D-1・3・4)について検討する。
			D-2	プリント、資料集	
			D-3	機 器	
			D-4	実験実習、器具、機材	
	E	た し か め	E-1	自 己 評 価	・授業の流れの中で評価の場を位置づけ、まとめの段階で教師の評価・自己評価を加え、次時につなげる。
			E-2	相 互 評 価	
			E-3	教 師 評 価	

資料4 数学科における学習指導案(抜粋)

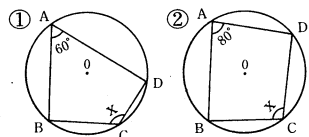
7. 本時における意欲化の要点

学 習 の 仕 方	B-2…実験により予想を確認すると同時に、同じ条件から出発できる体制をつくる。 A-2…グループ学習により意見交換の場をつくり助け合い学習ができるようにする。
学 習 意 欲 の 形 成	C-2…xの値を求めるだけでなく、性質を発見させるための糸口として取り扱う。 E-2…グループ(班)ごとの相互評価を行い、グループの意欲を高める。

8. 準備物

三角定規、コンパス、分度器

9. 指導過程

段 階	学 習 内 容 ・ 活 動	時 間	指 導 上 の 留 意 点 ・ 評 価 ◇	意 欲 化 の 手 だ て	
				学 習 の 仕 方	学 習 意 志 の 形 成
み         る	<p>1. 既習事項の確認と発展</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三角形はすべて円に内接する。が四角形はすべて円に内接するか。</li> <li>・発表する。</li> </ul> <p>2. 本時の課題把握</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・下図のような円に内接する四角形が与えられた時、xは何度になるか。</li> </ul> 	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三角形の外接円については既習事項であるので簡単にふれる程度にする。</li> <li>・2~3名に結果を聞く。</li> <li>・円に内接する四角形は四角形の特別な場合であり、その四角形には何か特別な性質がないかを見つけるための問題であることを押さえておく。</li> </ul>	B-2	G-2